



# 一酸化炭素中毒に注意しましょう

一酸化炭素（CO）は無色・無臭の気体で、空気とほぼ同じ重さ(比重)のため、その存在を感知しにくい気体ですが、非常に強い毒性があります。

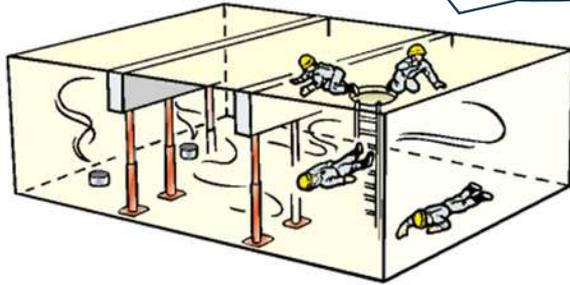
また、一酸化炭素は、血液中のヘモグロビンと結合しやすいため、一酸化炭素を体内に吸入すると体内への酸素供給が妨げられ、CO中毒を発症し、重篤な症状を引き起こします。

## 過去に全国で起きた一酸化炭素中毒の事例



### 【事例1】

換気や保護具の着用を徹底しよう！



防火水槽の建設工事において、コンクリートの養生のために設置した練炭から発生した一酸化炭素が水槽内全体に充満し、1名がCO中毒になった後、救出に入った3名も被災した。

### 【事例2】

換気の不十分場所で、内燃機関を有する物は使用しない！



工場内で、外部作業者が内燃機関を有するコンクリートカッターを使用し、工場内床面の基礎補強工事を行っていたところ、その周辺で機械操作業務、金型加工業務を行っていた作業員計7名がコンクリートカッターの排気ガスを吸引し、CO中毒となった。

### 【事例3】

サイズの合わない鍋を使うと、  
燃烧に必要な空気が吸い込まれ  
ず不完全燃焼を起こすよ！



被災者2名でスープや加熱調理の為の作業を行っていたが、換気装置を稼働させていなかった。ガスコンロの径に対し直径の大きな寸胴鍋を乗せて調理作業を行っていたところ、被災者2名ともにCO中毒となった。

「職場のあんぜんサイト」より

余裕をもった換気に加え、携帯用の「計測機器」や「警報器」なども使い、実際の作業時における一酸化炭素濃度の把握に努めてください

